かみましきの「農業」と「人」の、今を伝える広報誌

JAかみましき

JA KAMIMASHIKI PRESS

1

2022. January

よかよか うまか かみましき ©よい食P

JAかみましき
JA KAMIMASHIKI PRESS
2022.1　Vol.248

CONTENTS

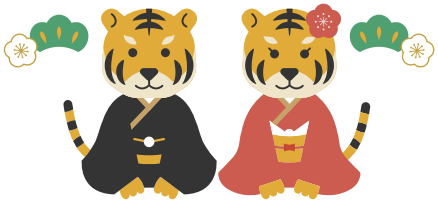
今月の表紙「イチゴ」	1
今月の人「藤岡 正輝さん・藤岡 ひろみさん」	2
新年のごあいさつ	4
組合だより	6
かみましきニュース	8
営農通信	12
たんぽぽだより	15
各部からのお知らせ	16
マッチング広場	18
今月のレシピ「イチゴ」	20

今月の人

山都町万坂地区

藤岡　正輝さん（65）
ひろみさん（59）

山都町万坂地区でイチゴを栽培しています。元々は私も妻も別の仕事をしていたのですが、周りのイチゴ農家の方たちが楽しそうにイチゴの栽培をされているのを見て自分たちも栽培してみようと思い、就農しました。平成3年から栽培を始め、今年で30年目のシーズンを迎えます。栽培規模としては、イチゴ（25アール）の他に米（1・5ヘクタール）を栽培しています。イチゴの品種は、甘みが強く多汁な「さがほのか」と甘みと酸味



謹賀新年

JAかみましき
ホームページはこちら
https://www.ja-kamimashiki.or.jp/
JAかみましき　検索
過去の広報誌やイベント情報公開中!!

丹精込めて育てたイチゴです ぜひ食べて下さい！

藤岡正輝
ひろみ

のバランスが良い「恋みのり」を栽培しています。昨年は、反収約7トンを出荷しました。

毎年、「去年の自分に勝つ」を目標にしています。目標を達成するために大切にしていることは、品種にあった肥料を使用することです。これにより良いイチゴができます。また、毎月講習会に参加し、指導を受けたらすぐに手入れをするように心掛けています。今後は、平均反収1000万円を目指していきたいですね。

イチゴ栽培は自然との戦いです。イチゴは台風や大雨などの自然災害に弱いので、一日に何度も天気予報を確認するんです。一方でハウスに綺麗な赤いイチゴがたくさん実っているのを見るととても嬉しくてハウスに来るのが楽しみになります。大変なこともあるイチゴ栽培ですが、周りのイチゴ農家の方たちはとても支えになります。一緒に切磋琢磨し、「今年も頑張ろうね」などと声を掛け合うことで頑張れています。目標を達成できるように今年も頑張ります。

丹精込めて作っているので甘くて美味しいイチゴをたくさん食べてください！

寅 2022

新年のごあいさつ

上益城農業協同組合
代表理事組合長
田原 要一

組合員・利用者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中はJA事業運営、活動に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

令和3年を振り返りますと、一昨年同様、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、引き続き感染症対策本部の立ち上げや危機管理対策会議の開催、ワクチンの職域接種等、様々な感染症予防・拡大防止対策に取り組んで参りました。

このような中、総代会は2年連続で書面議決での開催、また、JA祭、各種イベント、会議の中止や延期等、対面で意見交換する場面が少なくなりました事に対し申し訳なく思っております。本年も引き続き感染防止対策に努め、組合員・利用者の皆様との対面活動に努めます。

管内の農業情勢については、水稲が田植期以降、日照不足と病気等により作況指数は、県北（御船・甲佐・嘉島・益城）で98「やや不良」、阿蘇（山都町を含む）で97「やや不良」となり減収となりました。販売状況では、コロナ禍により外食、中食で需要が減少し令和2年産米の在庫数量が増加した事により、令和3年産米価は低迷の状況が続いております。また、野菜・果実類は、販売促進等が思うように行えない中、リモート会議等により産地情報等を消費者の下に届けながら販売に取り組みました。特に夏秋野菜に関しましては、8月中旬の長雨により、9月以降の出荷が減少し計画未達となりました。そこで販売促進の一環として、熊本県・町・経済連と連携、協力を頂き、当JAで初めてとなる「アレンジ料理コンテスト」及び「新米発表会」を開催しました。この「アレンジ料理コンテスト」では、県下より200点の応募を頂き、上益城産の米・野菜・とれたて市場（直売店）のPR・利用促進に努めました。今後の販売については、原油価格の上昇により、生産資材・肥料等価格が高止まりの状況である中、イチゴ・西瓜・ミニトマト等の秋冬野菜・果実や畜産等、農家の所得増大、計画達成に向けてより一層努力して参ります。

新年からは、12月2日に開催されました、第27回JA熊本県大会において決議された、熊本県域JA構想（令和6年4月発足）に向けて、将来にわたり組合員の「営農とくらし」を支え続け、JAグループの基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現を目指し、組合員・利用者の理解醸成に取り組んで参ります。また、昨年より取り組みました職場スローガンによる職員の資質向上につきましても、引き続き「おはようから始まる、笑顔の職場　明日へつなぐ、お疲れ様」に取り組み更なる向上に努め、組合員目線に立った、JAの自己改革に取り組み、厳しい状況に耐える環境整備や内部統制を行い、役職員が情報を共有し事業運営に携わって参ります。

まだまだ課せられた課題は山積みしておりますが、これからの情勢を見極めながら万全な対応を図り、皆様の負託にお応えできるよう努力して参ります。

組合員、利用者の皆様には、今後ともより一層のご指導とご協力を申し上げますと共に、今年一年災害がなく、何より輝かしい日々となりますようにご祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

会長理事	梶原 哲	
代表理事組合長	田原 要一	
代表理事専務	松岡 勇治	
代表理事常務	松本 和文	
御船地区担当理事	田端 幸治	
甲佐地区担当理事	志垣 保博	
嘉島地区担当理事	田端 雅充	
益城地区担当理事	森上 祐一	
矢部地区担当理事	小山 洋一	
清和地区担当理事	木野 誠喜	
理事	吉水 秀信	
理事	藤本 隆盛	
理事	小林 誠生	
理事	光永 徳幸	
理事	末武 信男	
理事	大村 幸誠	
理事	吉田 一浩	
理事	渕上 久文	
理事	児玉 豊和	
理事	荒木 寿典	
理事	木村 智文	
理事	松永 秀憲	
理事	佐藤 友治	
理事	藤本 イクミ	
理事	村上 聖子	
代表監事	澤 和雄	
常勤監事	本田 悟	
監事	道山 高伸	
監事	齊藤 進	
監事	西山 幸雄	
員外監事	笹原 光信	

～Ｓｈｏｗ Ｔｉｍｅ～
農業と地域活性の二刀流！

青壮年部長
藤瀬　健

組合員の皆様におかれましては健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和３年度よりＪＡかみまし き青壮年部長を務めております嘉島町の藤瀬健です。

昨年の青壮年部活動におきましては、一昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大が広がる中、出来る活動を模索し、管内の小学生の授業の一環として、田植え・稲刈り等の食農教育やＪＡ職員と盟友との親睦を深めるＴボール大会など新型コロナウイルス感染対策を十分にしながら様々な活動を行いました。

10月28日、ＪＡ熊本青年大会が開催され、「盟友の主張」部門において清和支部の高橋俊行さんが「百姓のメソッド」と題し発表され、最優秀賞を受賞されました。ＪＡかみまし き青壮年部にとって初受賞ということもあり、大変素晴らしい発表をしていただきありがとうございました。

農業情勢においては、石油価格高騰や輸出制限による肥料や飼料、建築資材など生産資材の価格が上昇しており、農林水産省が公表した８月の農業生産資材価格指数は、前年同月比で７％上昇と生産者にとっては非常に大きな打撃を受けている状況です。生産資材価格が上昇する一方で農産物価格への転嫁は非常に厳しく、野菜や米などの価格低下で同月の農産物価格指数は10％下がっており、農業利益の縮小となっています。このような状況を乗り越えるため、国会へ農家の声を上げていくことが今後を担う青壮年にとって必要不可欠な活動ではないかと思っています。

今後も日本農業をとりまく環境が目まぐるしく変化していき予断が許されない状況です。我々青壮年部盟友は、地域農業の担い手として一致団結し、農業の活性化や明るい地域社会を守るため、そして、上益城の農業が元気になるような国の農業政策から目を離さず、国への要請活動などを今後も引き続き行っていきます。

今年も「ＳＤＧｓ」の展開の年に!!

女性部長
藤村裕里子

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの爆発的な流行により、女性部の皆さんにおかれましても二回のワクチン接種と大変な一年だった事でしょう。女性部の活動も自粛が続き、活動を開催することができませんでした。また、四月の総代会も、一昨年に続き書面決議となりました。

本部の役員会も密を避けて本所の大ホールで行いました。10月末頃から新型コロナウイルスの感染者が少しずつ減少しましたので、まだ少人数ではありますが、各支部で活動が始まっています。そのような中、12月15日ウイング松橋で開催されました「熊本県家の光大会」では「自分磨きの四年間」と題し、御船支部の野口留美子さんに発表していただきました。素晴らしい発表をありがとうございました。

昨年出来ませんでした食の伝統とリーダー学習会を1月29日に開催します。食の伝統は、甲佐支所が担当です。今年は、少しずつ行事ができるのではないかと期待しています。

昨年末、共済連よりドライフードを作る機械を二基、熊本県女性協議会に寄贈されました。現在、ＪＡ熊本市の本所に設置してあります。「見学したい」「利用したい」とご希望がありましたら、中央会へ申し込みが必要です。例えば、「大根10キログラムを短冊切りにして、一晩で1キログラムになるとか」

昨年は、「ＪＡ女性　地域で輝け50万パワー☆」の最終年度でしたが、実践することができませんでした。そのような中、「誰一人取り残さない」を基本理念とする「ＳＤＧｓ」を本年度は展開していきたいと思います。

皆さんとの出会いを大切にして、今年もよろしくお願い致します。

上益城農業協同組合
代表理事組合長　田原　要一　ほか役職員一同

◆矢部支所リニューアルオープン

５月24日、山都町のＡコープ矢部の隣接地に矢部支所をリニューアルオープンしました。

●書面議決での総代会開催

６月23日、第20回通常総代会を本所で開催しました。今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により書面議決での総代会開催となりました。

◆農業所得向上・生産コスト削減の取り組み

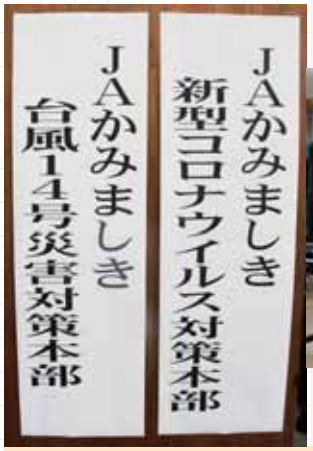
販売促進会の開催やスマート農業、現金即売会、農業PR活動により農業所得向上と生産コスト削減への取り組みを行いました。

◆コンプライアンス研修の実施

10月コロナ下の人権配慮について（WEB）
11月コンプライアンスマニュアル勉強会（各部署）
12月交通安全講習会（山都、御船警察署より講和）（WEB）を行いました。

◆農業機械・自動車・日用品展示会を開催

10月下旬から11月中旬にかけて各地区で農業機械・自動車・日用品展示会を開催しました。たくさんのご来場ありがとうございました。



●対策本部設置

新型コロナウイルスや台風接近などに伴い対策本部を設置し、新型コロナウイルスに係る行動、対応の仕方を共有、また、農作物や各施設の事前・事後対策を行いました。

組合だより

◆稲作所得向上に向けた取り組み

「くまさんの輝き」新米発表会を開催するなどＰＲ活動にも取り組みました。また、昨年から「くまさんの輝きＰＲ動画」をYouTubeで公開しております。是非、ご覧ください。

◆アレンジ料理コンテスト開催

コンテストを通してとれたて市場を利用してもらう事や、放送局5社(NHK・RKK・TKU・KKT・KAB)の取材もあり、とれたて市場や上益城産の生産物のPRにつなげました。また、200件と多くの応募が集まりました。

◆とれたて市場で様々なイベントを開催

お客様に楽しんでいただけるようとれたて市場で季節のイベントや売り出しなど様々なイベントを開催しました。
今後もイベントを開催しますので、ご来店お待ちしております。

◆地域活性化・食農教育

管内小学校の児童に田植えから稲刈りまでの体験学習に参加してもらい、食と農について学んでもらいました。

◆教育・文化活動

管内の小学校に家の光協会の「ちゃぐりん」を贈呈し、農業を通じた教育・文化活動に取り組みました。

JAかみまーき管内の話題をお届けします！

かみまーきニュース

熊本県畜産まつり開催

JA自己改革 所得増大 UP!

11月5日、菊池市の熊本畜産流通センターで5年に一度の「熊本県畜産まつり」が開催されました。今年は枝肉共励会のみの開催となり、県下各地から肉牛、肉豚が多数出品され、枝肉の外観や肉質の審査が行われました。肉豚の部では、益城町のピッグファーム陳がグランドチャンピオンとなり、農林水産大臣賞を受賞されました。

県内では毎年、畜産関係団体ごとに畜産共励会を開催。しかし、5年に一度は「一致団結して畜産を盛り上げよう」と、県畜産振興会が共励会を開いています。

受賞された陳さん

青壮年「盟友の主張」で最優秀賞受賞

受賞おめでとうございます

ＪＡ熊本青年大会において当ＪＡ青壮年部清和支部の高橋俊行さんが「盟友の主張」部門で最優秀賞を受賞されました。

高橋さんは「百姓のメソッド」と題し、自らの就農経緯や海外視察研修について発表されました。今回の受賞は、当ＪＡ青壮年部においてはじめての受賞です。素晴らしい発表ありがとうございました。

第27回ＪＡ熊本県大会開催

12月2日、益城町のグランメッセ熊本で第27回ＪＡ熊本県大会が開催されました。

「持続可能な食・農・地域の明るい未来づくり～『オール熊本』で挑む不断の自己改革～」をテーマにＪＡグループ熊本が主催。新型コロナウイルス感染拡大防止措置を徹底し、県内の生産者やＪＡ・連合会の役職員など約１０００人が参加する大規模な大会となりました。

大会では、同グループが環境変化に対応するため「熊本県域ＪＡ」の実現を前提に、共通して取り組む実践事項と中期計画の策定指針が示されました。また、特別決議では２０２２年４月の「県域ＪＡの実現」に向けての理解醸成やグループ一体で取り組むことについて確認しました。

県域JA実現へ一体で不断の自己改革を誓いました

イチゴ出荷順調

JA自己改革 所得増大 UP!

JA自己改革 販売単価アップ

クリスマスを前にイチゴの出荷が順調に行われています。管内では、第1営農センター管内と第3営農センター管内を中心に生産されており、来年の6月まで出荷が続きます。11月24日に開催された出荷大会では、市場との意見交換などが行われ2021年産の生産や販売について様々な意見が共有されました。

管内では、34人の生産者が「さがほのか」「恋みのり」「ゆうべに」を6・2ヘクタールで生産しています。今年は、各営農センター併せて330トン、販売高3億7000万円を目指します。2021年産は、8月中旬から9月上旬の気温が例年より低かったため、花芽分化が順調であり高冷地・平坦地ともに適期に定植を終えることが出来ました。現在全品種日量2000~3000パック前後で出荷されており、例年通り安定した出荷となる見込みです。

いちご部会の方々

出荷準備をする野仲副部会長

金竹・銀竹出荷始まる

JA自己改革 所得増大 UP!

持ち込まれる金竹・銀竹

JA系統での生産・販売高全国一を誇る管内で金竹・銀竹の出荷が順調に進んでいます。門松などの正月の飾りつけ用に生産され、今シーズンは12万本の出荷を見込んでいます。

切り取った孟宗竹を火で炙って曲げ、金や銀などに着色する金竹・銀竹。厳正な検査の後、主に関西や九州内の市場へ出荷します。

西瓜出荷始まる

JA自己改革 所得増大 UP!

JA自己改革 販売単価アップ

11月11日、第2営農センター管内でスイカの出荷が始まりました。出荷開始に先立って行われた販売対策会議では、コロナ禍での販売が続くなか、より一層販売活動に力を入れ、精一杯売り込みを行っていくことが確認されました。

この季節のスイカは珍しく贈答用などで人気を呼んでいます。出荷初日には12トンのスイカが益城西瓜選果場に持ち込まれ、主に関東、関西方面へ出荷されました。今年度は、出荷量2200トン、販売高6億円を目指します。

益城台地に広がるハウスの中で昼夜の寒暖差によって平均11・5度と高糖度に育つ益城スイカ。今年も定期的に栽培講習会を行い、さらなる技術向上を図ります。さらに、既存の品種以外にも新たな品種を試験的に取り入れます。担当職員は「益城の美味しいスイカを食べてもらうために部会一丸となって生産に努めていく」と話しました。

西瓜販売対策会議の様子

これから出荷されるスイカ

緑川保育所の園児からプレゼント

JA自己改革 地域活性

11月19日、甲佐町の緑川保育所の園児が本所を訪れ、職員に手作りのカレンダーをプレゼントしました。

今回のプレゼントは11月23日の勤労感謝の日に合わせて贈られたもの。手作りカレンダーの素敵なプレゼントと、朝の職場に響く「お仕事頑張ってください」という園児の元気な声に本所職員からは笑みがこぼれました。緑川保育所の皆さん、ありがとうございました。

園児から
手作りカレンダーの
プレゼント!

プレゼント
ありがとうございました

農政学習会開催

JA自己改革 所得増大 UP!

11月19日、青壮年部は益城支所で農政学習会を開催しました。参議院議員の藤木眞也氏を招き「農家の声を国政に！農家目線の農業政策実現を～地域の担い手として青壮年部に求める今後の期待」と題して地方農業・農政をめぐる諸問題や新型コロナの影響と対策についての講義が行われました。

管内の青壮年盟友や役職員約70人が参加。質疑応答では、「マルチ等、農業用ビニールの今後の使用」「外国人技能実習生の受入れについて」などがありました。

講義を受ける青壮年

体験学習会開催

JA自己改革 地域活性

11月12日、甲佐小学校で「体験学習会」を開催しました。

同学習会は甲佐町と共同で開催。当ＪＡの松岡専務が講師として招かれ、児童達に武道を通じた礼儀や挨拶の大切さを伝えました。

児童たちは、元気よく大きな声で挨拶の練習をしたり、武道の体験に取り組んだりしていました。

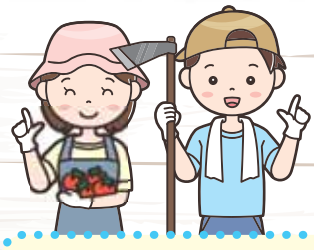
最後には、甲佐支所担当ＬＡから自転車共済について説明。また、当ＪＡから自転車用のライトやキーホルダーをプレゼントし、児童達は大変喜んでいました。

松岡専務が相手を思いやることの大切さについてお話されました

空手道を体験する
児童たち

熊本農業の未来をみんなで考えよう

熊本県域JA構想③



熊本県JAグループでは、環境変化に適時・的確に対応しながら
「農家・組合員の多様なニーズに、これまで以上に応えていくため」
「ＪＡの組織・経営基盤を将来にわたってより強固なものにするため」に
令和２年８月より『熊本県域ＪＡ構想』の協議を進めています。

「農業・組合員」の視点では、どのようなJAを目指しているの？

①全国トップクラスの販売高を有するＪＡとして、スケールメリットを最大限に活かした販売力の強化・生産コストの削減を図り、農業所得向上の実現を目指します。
②専門的な知識・ノウハウを結集させ、農業者に対する営農指導の実施や経営・生活支援に取り組み持続的な農業生産の維持・拡大を目指します。
③管理部門の集約と施設・職員の合理的・効果的な配置によって、組合員のもとに出向く体制を構築し、「組合員に寄り添う身近なJA」を目指します。
④県域JAになっても、出向く体制の強化や定期的な会合の開催、地域活動の強化など、あらゆる場面で組合員との対話を行い、組合員の「声」がJA運営に反映できる体制・仕組みを構築することによって、満足度の向上を目指します。

「地域社会」の視点では、どのようなJAを目指しているの？

①日本の「食」を支える農業県熊本に根差したＪＡとしての社会的役割を果たすため、全国に安全・安心な農畜産物を届けるＪＡを目指します。
②農業・地域振興を通じ、農業・農村が担う多面的機能の持続的な役割発揮を支え、事前環境の保全・維持に積極的に貢献する組織を目指します。
③地域に根づく協同組合らしい総合事業の展開によって、組合員・地域住民のくらしを支え、豊かでくらしやすい地域社会へ貢献するＪＡを目指します。
④「くらしの活動」の継続的な実施や、組織規模を活かした県全体での広報活動によって「農業・ＪＡ・食」への理解醸成を図り、「なくてはならないＪＡ」を目指します。

「JA経営」の視点では、どのようなJAを目指しているの？

①結集力・スケールメリットを最大限に創出・発揮するとともに、地域性を尊重した事業・組織運営を展開することによって、組織力と地域特性を併せ持ったＪＡ運営を目指します。
②組合員・役職員・ＪＡ・連合会の総力を結集することによって、環境の激変を見通した事業・組織運営及び経営基盤の強化を図り、次世代の農業者・地域社会を未来永続的に支え続ける組織を目指します。
③組織規模に応じた高度で専門的な経営管理・リスク管理の実践により、経営の健全性の確保、コンプライアンス態勢の確立・強化を図り、信頼されるＪＡを目指します。

次回は、「熊本県域ＪＡの事業別基本方針・個別具体戦略」についてご紹介します。

～インボイス制度対応第3弾～

消費税のしくみ

消費税は誰が負担するのか？

・消費税は、国民に浅く広く負担してもらおうという趣旨で平成元年に導入されました。

消費税は誰が納めるのか？

・消費税は、事業を営む「事業者」が納めます。農家も農業を営む「事業者」です。
・「事業者」は売り上げ時に消費税相当額を「消費者」から預かり、国に納める義務があります。
・「事業者」は、国に消費税を納める際、自身の仕入れ時に負担した消費税相当額を控除することができます。これを「仕入税額控除」といいます。

農産物 20,000円
消費税　1,600円

資　材 15,000円
消費税　1,500円

資　材 10,000円
消費税　1,000円

全農

1,600円
を負担

1,600円−1,500円＝100円
を国に納める

1,500円−1,000円＝500円
を国に納める

1,000円
を国に納める

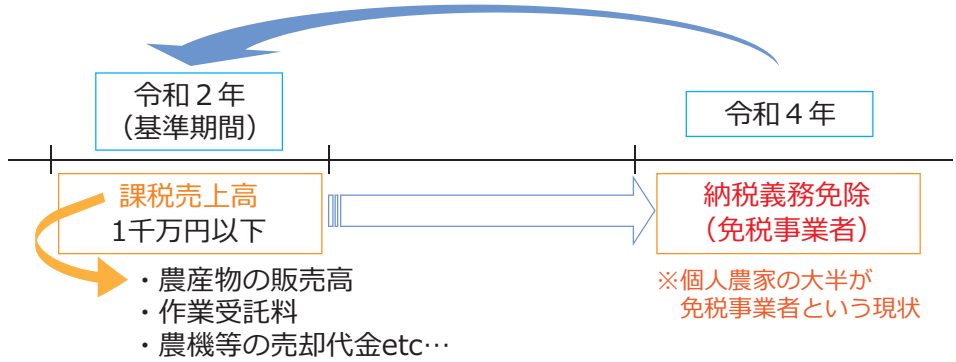
課税事業者と免税事業者

事業者は必ず消費税を納めなければいけないのか？

・原則として、すべての事業者は消費税を納める義務があります。消費税を納める義務がある事業者のことを「課税事業者」といいます。
・ただし、一定規模以下の事業者は、消費税の納税義務が免除されます。これを「免税事業者」といいます。

免税事業者とは？

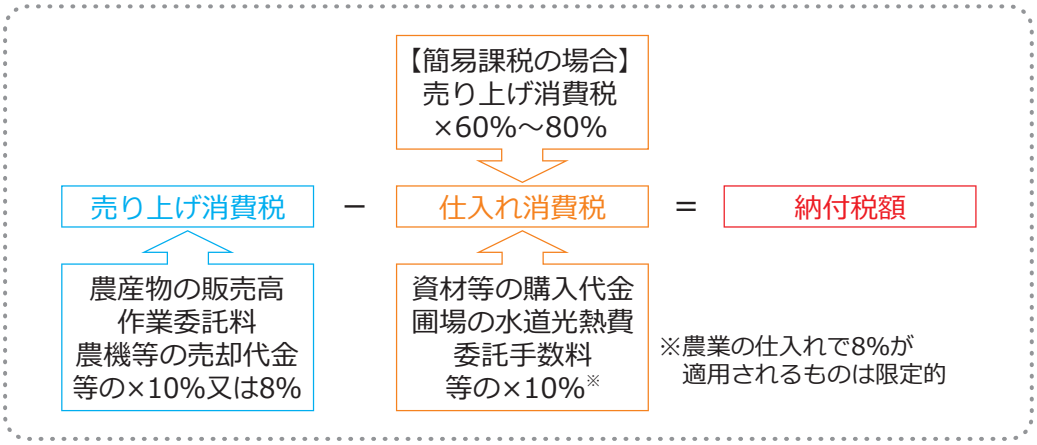
・免税事業者とは、基準期間（原則2年前）における「課税売上高」が1千万円以下の事業者のことをいいます。現在は個人農家の大半が免税事業者であると考えられます。
・「課税売上高」とは、農業でいうと農産物の販売高や作業受託料、農機等の売却代金が該当します。（補助金・助成金・交付金や受け取る地代は課税売上高に含まれません。）



納税額の計算方法の概略

納税額の計算方法は？

・その年の売り上げ消費税額から仕入れ消費税額を控除（仕入税額控除）します。



・本則課税で計算した結果、上記計算結果がマイナスになる場合その金額は還付されます。

・簡易課税はその計算構造上マイナスになりません。

・還付を受けるには税務署への申告が必要ですが、免税事業者は申告書を提出することができないため還付を受けられません。

・基準期間の課税売上高が1,000万円以下でも、税務署へ「課税事業者選択届出書」を提出することにより、課税事業者になることもできます。この届出は、原則として課税事業者になろうとする前年末日までに提出する必要があります。

課税売上と課税仕入

課税売上とは？

・課税売上とは、文字どおり消費税の課税対象となる売り上げ（収入）のことをいいます。

・農業では主に農産物の販売高、作業受託料、農機等の売却代金が該当します。

課税仕入とは？

・課税仕入とは、文字どおり消費税の課税対象となる仕入れ（支出・経費）のことをいいます。

・売る側で課税売上になるものは、買う側で課税仕入れになると考えてください。

農業における主な課税売上および課税仕入れ

課税売上		課税仕入	
該当するもの	該当しないもの	該当するもの	該当しないもの
・農産物の販売高 ・作業受託料 ・農機等の売却代金 ・過年度分の精算金 ・従事分量配当金 ・事業分量（利用高）配当金 ・出荷奨励金 ・事業用建物の家賃収入	・補助金、助成金、交付金 ・共済金 ・収入保険の補てん金 ・受け取り地代 ・農地の売却代金 ・給与収入 ・出資配当金 ・住居用建物の家賃収入	・資材等の購入代金 ・圃場の光熱費、燃料費 ・委託手数料 ・農機等の購入代金 ・荷造運賃 ・リース料 ・会議費 ・交際費（金銭以外）	・支払い地代 ・共済掛金 ・農地の購入代金 ・雇人費、専従者給与 ・減価償却費 ・借入利息 ・寄附金、見舞金 ・交際費（金銭によるもの）

昨年に引き続き「フクユタカA1号」の実証試験を行いました!

熊本県・JA熊本経済連・かしま広域農場とJAかみましきが連携し行う、さやがはじけにくい新品種「フクユタカA1号」の栽培で、収穫量が従来品種「フクユタカ」以上に確保できるか実証試験を行いました。

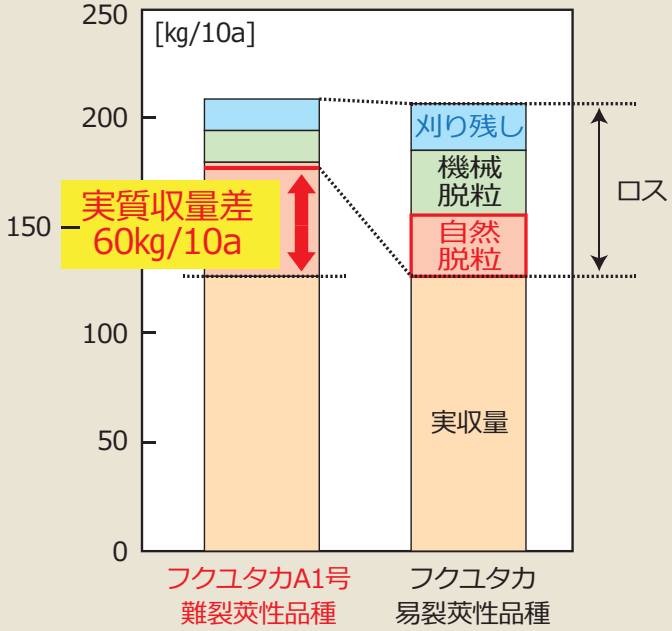
播種から約４か月後の11月29日に刈り取りを行い、さやのはじけが少なく、収穫ロスも少ないことを確認しました。

関係機関に対し、早期に品種登録をお願いし、今後さらに収穫ロスのない大豆栽培に取り組んでいます。

10月26日の現地検討会の様子

11月29日の刈り取りの様子

＊「フクユタカ」と同等の農業特性で、莢がはじけにくく、収穫ロスを低減させます。



長所

- 自然裂莢が生じにくい（栽培環境により異なる）
- 収穫時脱粒が少ない
- 丁寧な収穫作業ができる

収穫損失が低減でき、安定生産に寄与できる

たんぽぽだより

地域との連携

デイサービス大地

「好きっ通潤パズル」機能回復や認知症予防に活用できるパズルです。

矢部高校の木工実習で出る端材が実習のたびに焼却処分されるのを見て、「もったいないなぁ」と高校生の想いがじいちゃん、ばあちゃん達の遊具パズルとして誕生しました。

ＪＡの福祉施設（６施設）にも頂いて毎日の機能訓練活動に頑張っています。

さっさと出来る人、やっぱり認知症が応援している人、それぞれに真剣に取り組んでいます。

矢部特産品　『柚子』

矢部高校で栽培された柚子を山都町役場の職員さんが「施設での柚子湯等に使ってください」と運んできてくれました。

冬至（今年は22日）までには時間がありましたが施設での入浴に毎日使用しました。

風邪の予防になる、勿論、血行が良くなり美肌を作る、そして捨てるところのない柚子。健康効果ありです。

有料老人ホームたんぽぽ

今日は、風もないし暖かいから散歩に行きましょうか。

「うん久しぶりに行ってみろうか」

希望者約３名

「クリスマスツリーの品評会のありよるごたるけん行ってみよう」

「うわぁ綺麗　えらい、いっぴゃぁあるばい」

文化の森で「クリスマスツリーコンテスト」を見学しました。

目はくりくり、大きな口を開けてびっくりやら感心やらでした。

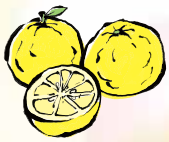
『くまモンさんまで、来とんなはるとは何でですか？』

「審査員さんってたい」

やまびこ

“冬至には柚子湯に入ろう”

柚子湯



通所・サポートセンター虹

「消防避難訓練」

11月24日（水）、デーサービスと有料老人ホームで消防避難訓練を実施しました。厨房からの出火を想定し、ハンカチやタオルで口を押えながら落ち着いて避難できました。空気が乾燥する季節ですので、皆様も火の用心を心掛けてください。

「干支の貼り絵」

毎年恒例の干支の貼り絵を９月より取り掛かっており完成間近となりました。乞うご期待！

何かご相談があればJAへ!
ケアマネジャーがあなたに寄り添いサポートします。

JA上益城居宅介護支援事業所　☎0967-73-1253
虹のかけ橋　☎096-234-0009

資格をお持ちの方はもちろん、福祉の仕事に興味のある方、各事業所で一緒に働いてみませんか？
まずは、お電話下さい。
JAかみましき　福祉センター
☎0967-73-1211

各部からのお知らせ

金融部

よかよかローンキャンペーン

キャンペーン期間　令和3年12月1日(水)～令和4年4月28日(木)まで
（表示金利は令和3年12月1日現在）

農業応援キャンペーン

農機ハウスローン
固定金利 年1.70%

農機ハウスローン 21世紀農業フォローアップ資金
さらに!!
最大1.0%の利子補給
※但し、100万円以上借入の場合（当初3年間）

生活応援キャンペーン

ネット申込限定!!お申し込みはコチラ!▶▶▶▶▶▶

マイカーローン
固定金利 年1.40%
変動金利 年1.40%
窓口でのお申し込みは +0.2%

教育ローン
固定金利 年1.45%
窓口でのお申し込みは +0.1%

リフォームローン
固定金利 年1.30%

21世紀農業フォローアップ資金
固定金利
年1.70%（5年以内）
年1.70%（10年以内）
年2.20%（20年以内）

キャンペーン金利の適用条件…下記の①～③いずれかに該当されたお客様
※マイカー変動・教育ローン以外
①ＪＡカードを契約中、または新たに契約される方（新規は一体型）
②ＪＡに販売代金・給与振込・公共料金を指定されている方、または新たに指定される方
③ＪＡで既に住宅ローンを借入されている方、新たにキャンペーン期間中に住宅ローンを借入される方。（本審査承諾が下りている方。）

JA購入特典
キャンペーン期間中に当JAでご購入された方は、上記のキャンペーン金利より
さらに…金利年0.3%引き下げます!

さらに…JAネットバンク契約者及び新規申込みされる方は
金利年0.2%引き下げ!

購買部

車検キャンペーン

期間　本日から2022年３月末まで

JAかみまし車輌センターに車検のご予約をされた方に限ります。

特典

新規で車検のご予約をされた方

￥1000分の給油券進呈

車を持込まれ、車を引取りにこられた方

￥1000分の給油券進呈

代車

代車が不要な方

￥1000分の給油券進呈

3つを該当されたら¥3000分の給油券をもれなく進呈いたします!

JAかみまし管内のJA ss給油所で使用できます。
この機会に、車検はJAかみましきへ!

お問い合わせはこちらまで　上益城車輌センター　☎096-239-0001
矢部車輌センター　☎0967-72-1349

共 済 部

事故のときは、冷静な対応と速やかな連絡を心がけましょう!

平日、土 8:30～17:00　共済部　自動車査定課　☎096-234-1311

夜間・休日は（JAの営業時間外）フリーダイヤル安心サービスをご利用ください。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。

【事故等の場合には】JA共済　事故受付センター　ジコはクミアイ　0120-258-931

夜間休日 現場急行サービス	JAの営業時間外にJA共済事故受付センターへご連絡いただいた事故について、ALSOKの対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞取り等を行います。
夜間休日 初期対応サービス	JAの営業時間外にJA共済事故受付センターへご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。
休日契約者 面談サービス	JAの営業時間外にJA 共済事故受付センターへご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

【レッカー移動や故障時の応急対応は】JA共済　サポートセンター　レッカーロードサービス はクミアイ　0120-063-931

レッカーサービス※ 24時間365日受付	事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。
ロードサービス※ 24時間365日受付	故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、お車の応急対応を行います。

※事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)。

あなたのお車の修理はJA共済自動車指定工場におまかせください!

(有)中林鈑金塗装工場

〒861−3102
熊本県上益城郡嘉島町大字下六嘉3816−1
☎096−237−0529

矢部車輌センター

〒861−3516
熊本県上益城郡山都町千滝9−2
☎0967−72−1349

JA RIC

～特典～
代車の無料貸し出し・引取・納車サービス・車内清掃・洗車サービス

「信頼」と「技術」をモットーに JA共済

令和4年　JAかみましき職場スローガン

「おはようから始まる、笑顔の職場
明日へつなぐ、お疲れ様」

令和4年もこのスローガンのもと、役職員が一丸となり、組合員・利用者から
より満足されるJAを目指します。

マッチング広場　売却希望商品

JA自己改革
生産コスト低減

メーカー・商品名　クボタ　田植機
型　　式　NSU50　ロータリー5条植え
使 用 年 数　11年

メーカー・商品名　クボタ　トラクター
型　　式　KB185MAPC3RF5　ワンタッチジョイント、狭幅クローラー
使 用 年 数　10年

メーカー・商品名　クボタ　トラクター
型　　式　KB19X　モンロー、オート、耕運幅140㎝
使 用 年 数　10年

お問い合わせ先：山都農機センター　0967－72－1865

理事会だより

第6回定例理事会
令和3年11月30日（金）
（本所2階ホール）

議事

一、大口融資の貸付（案）について
二、一般貸倒引当金の計上における予想損失率（貸倒実績率の補正）（案）について
三、重点取り組み事項進捗状況調査票（案）の提出について
四、職員に対する年末賞与の支給（案）について

理事会にて以上4つの提案があり、すべて承認されました。

報告事項

一、JAローンキャンペーン実施運動について
二、農機・自動車・日用品展示会実績について
三、令和3年度9月末場所別・部門別調査表について
四、JA活動総合3ヵ年計画（令和1～3年度）進捗状況について
五、10月末事業実績について
六、行事経過及び行事予定について

1月のイベント

1月6日(木)	仕事始め式
毎週水曜日	焼き芋売り出し　とれたて市場花立店

※新型コロナウイルスの影響により中止になる場合があります。
※毎週水曜日はとれたて市場ポイント3倍デー

とれたて市場からのお知らせ

とれたて市場　嘉島店・花立店・益城店1月6日（木）より
通常通り営業致します。
今年も多くのご来店お待ちしております。

人事異動について

(退職)正職員　組合員の皆様には大変お世話になりました。

氏　名	所　属　部　署	退職理由	日　付
宮崎　永成	営農部第3営農センター加工･農産課加工･農産係	自己都合	令和3年11月30日付

(採用)正職員　これからよろしくお願い致します。

氏　名	所　属　部　署	備　考	日　付
田口　青空	購買部農機･車輌課山都農機センター係	試用職員	令和3年12月1日付

(異動)正職員

氏　名	新　部　署	旧　部　署	備　考	日　付
石橋　亮	営農部第1営農センター農産課農産係	営農部第1営農センター農産課農産係	試用職員期間満了	令和3年12月1日付

もしもの時はお電話下さい

天昇院ましき

益城町惣領1414の2

TEL 096-289-1059
夜間 090-4982-1059

天昇院みふね

御船町御船948の1

TEL 096-281-1059
夜間 090-4982-1059

24時間対応しています　相談も随時受付中

自動車事故の時はお電話下さい

ＪＡかみましき　共済部自動車査定課
096−234−1311

ＪＡ共済事故受付センター
0120−258−931
(24時間365日対応)
・事故受付とアドバイス
・夜間休日初期対応サービス
・夜間休日現場急行サービス
・休日契約者面談サービス　対応

ＪＡ共済サポートセンター
0120−063−931
(24時間365日対応)
・レッカーサービス
・ロードサービス　対応

JAかみましき
JA KAMIMASHIKI PRESS

発　行／上益城農業協同組合
発行責任者／田原　要一
編集責任者／坂本　浩一
編集企画／総務部　管理課

今月は「イチゴ」レシピ！

今月のレシピ

しっとり苺のチーズケーキ

材料 4人分

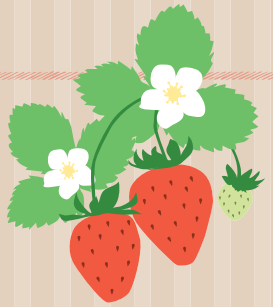
イチゴソース用
- イチゴ……2パック
- グラニュー糖…100g
- レモン汁……大さじ1

クリームチーズ…200g
卵……4個
薄力粉……50g
コーンスターチ……15g
バター……40g
生クリーム……70cc
グラニュー糖……100g
レモン汁……大さじ1
バニラエッセンス…適量

作り方

①イチゴ2パックをフードプロセッサーにかける。
②①を鍋に移してグラニュー糖とレモン汁を入れ火にかけ、20分ほど煮詰める。（イチゴソース）
③ボウルにクリームチーズを入れ、なめらかに練り、溶かしたバターとバニラエッセンスを加える。
④③に卵黄4個分(少しずつ)と生クリーム、イチゴソースを加え混ぜ合わせる。
⑤薄力粉＋コーンスターチをふるいにかけ、④と合わせる。
⑥別のボウルに卵白4個分を泡立て、グラニュー糖を4回ほどに分け入れ、角が立つまで泡立て、角が立ってきたら、レモン汁を入れメレンゲを作る。
⑦⑤のボウルに⑥のメレンゲをゴムベラで3回に分けて入れ、切るようにして均一に混ぜる。
⑧ケーキ型(底がぬけるもの)にクッキングシートを型に合わせて切り、⑦を入れ、空気を抜く。(10㎝の高さから落とす)
⑨オーブンを予熱処理160℃で予熱しておき、天板にクッキングペーパーを敷き、熱湯を注ぎ、中央にケーキ型を置いて、1時間ゆっくり焼く。
⑩焼き上がったら、オーブンを開けず1時間おき、冷めたら冷蔵庫で2～3時間冷やし、型から外す。
※デコレーションする場合、生クリーム130ccを泡立て、グラニュー糖100g、バニラエッセンス少々を加え、生クリームを仕上げ飾る。

イチゴたっぷり♪満足白玉



作り方

①上記のレシピと同様にイチゴソースを作る。
②Aをボウルに入れ、イチゴソースを大さじ5入れ、手でこねる。
③②を500円玉の大きさに丸めて、お湯を沸かして茹でる。
④白玉が茹であがったらボウルに水をはり、冷やす。
⑤イチゴ1パックを5㎜の大きさに角切りし、ボウルに入れる。（フレッシュソース）
⑥⑤にはちみつを入れ約1時間おく。
⑦お皿に白玉とフレッシュソースを盛り付けて完成。

材料 4人分

イチゴソース用
- イチゴ……2パック
- グラニュー糖…100g
- レモン汁……大さじ1

イチゴ……1パック
はちみつ…大さじ3

A
- 白玉粉……250g
- 餅粉……50g
- 水……150cc

ワンポイントアドバイス

イチゴには豊富なビタミンCが含まれています。ビタミンCは免疫力を高める効果があるので、風邪や生活習慣病の予防に役立ちます。また、抗酸化作用の強い色素成分アントシアニンは眼精疲労によいとされています。寒さが厳しくなり風邪をひきやすい時期です。イチゴを食べて免疫力を高めましょう！

お手軽おいしいレシピがたくさん！
かみましきキッチンレシピはこちらのHPから→

JAかみましき　検索

熊本食の名人
河原　君代

〒861-3243　熊本県上益城郡甲佐町大字白旗543番地1
TEL (096) 234-1155　FAX (096) 234-0890
URL　https://www.ja-kamimashiki.or.jp/
E-mail　jakamimasiki@aioros.ocn.ne.jp